

ふじのくに生物多様性地域戦略

～中間見直しの概要～

静岡県自然保護課



ふじのくに生物多様性地域戦略



【本県の特徴的な地域】



南アルプス



富士山

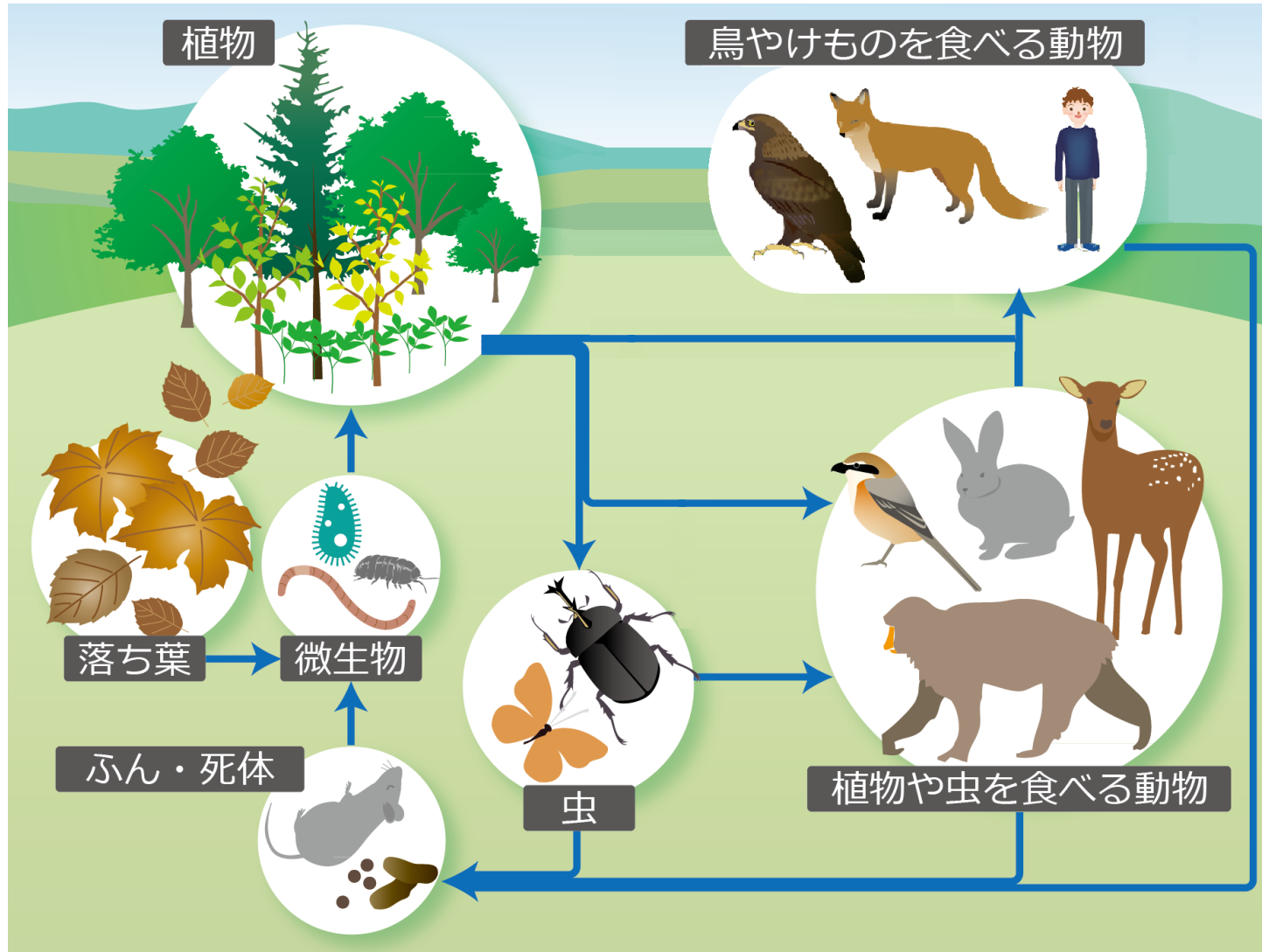


浜名湖



伊豆半島

生物多様性とは



本県の動植物数



生物多様性に迫る4つの危機

1 開発等人の活動による危機

開発等で生物の生息・生育環境が破壊されることにより、生物の個体数の減少につながっています。



キンラン 準絶滅危惧

2 自然環境に対する働きかけの縮小による危機

雑木林や草地が利用されなくなったことで生態系のバランスが崩れ、里地里山の生物が絶滅の危機に瀕しています。



オオウラギンヒョウモン 絶滅

3 人により持ち込まれたものによる危機

外来生物の侵入により、在来生物の生息・生育場所が奪われたり、捕食されたり、交雑による遺伝的な攪乱等が生じます。



ブルーギル 特定外来生物

4 地球環境の変化による危機

地球温暖化によって分布地域のほか、植物の開花・結実時期、昆虫の発生時期等に変化が生じると考えられています。



ライチョウ 絶滅危惧Ⅱ類

静岡県の絶滅危惧種

カテゴリー		基本概念
絶滅危惧	I A類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	I B類	I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	II 類	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧		存続基盤が脆弱な種

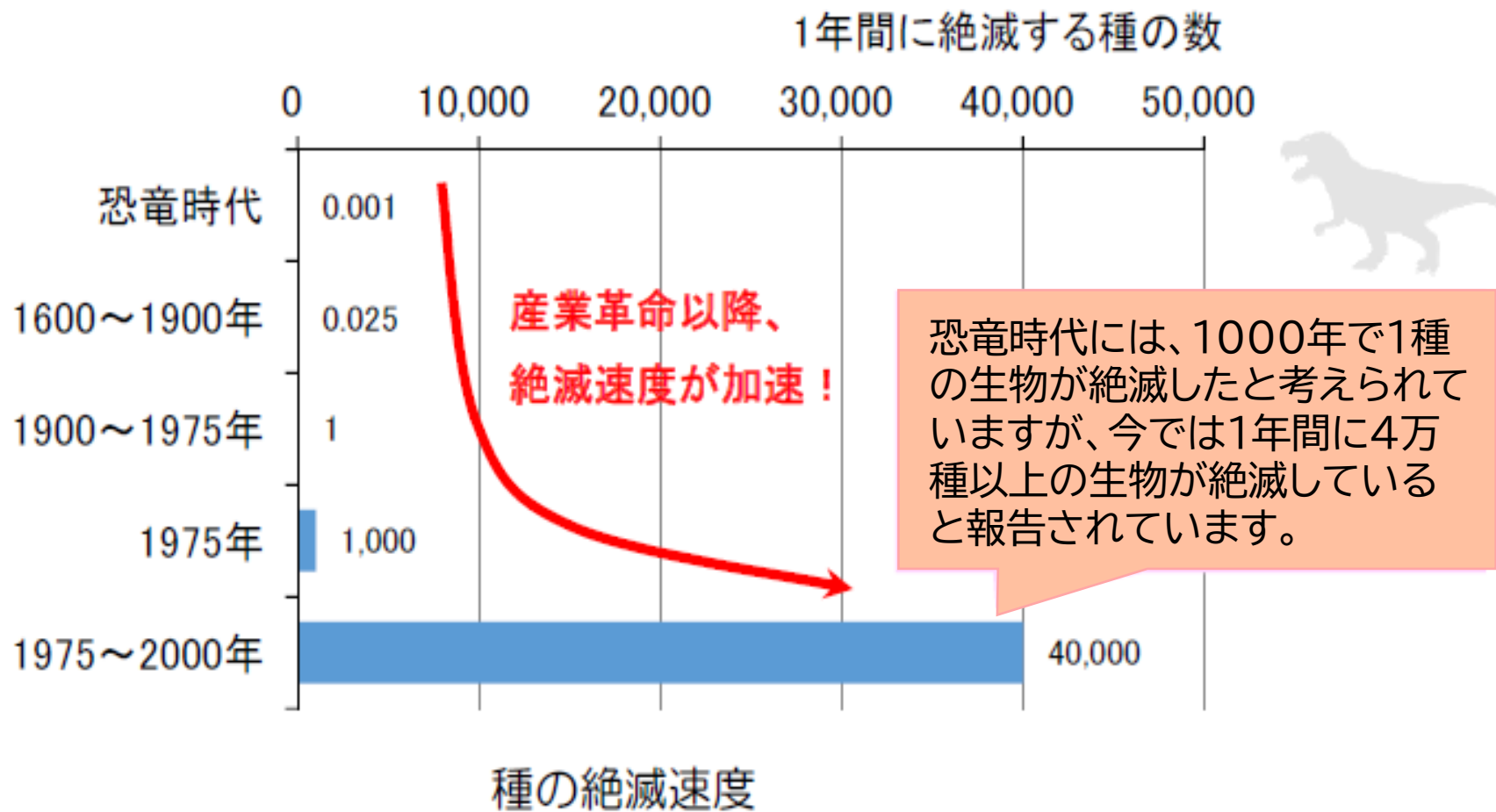
【絶滅のおそれのある種数】

動物 176種

植物・菌類 442種

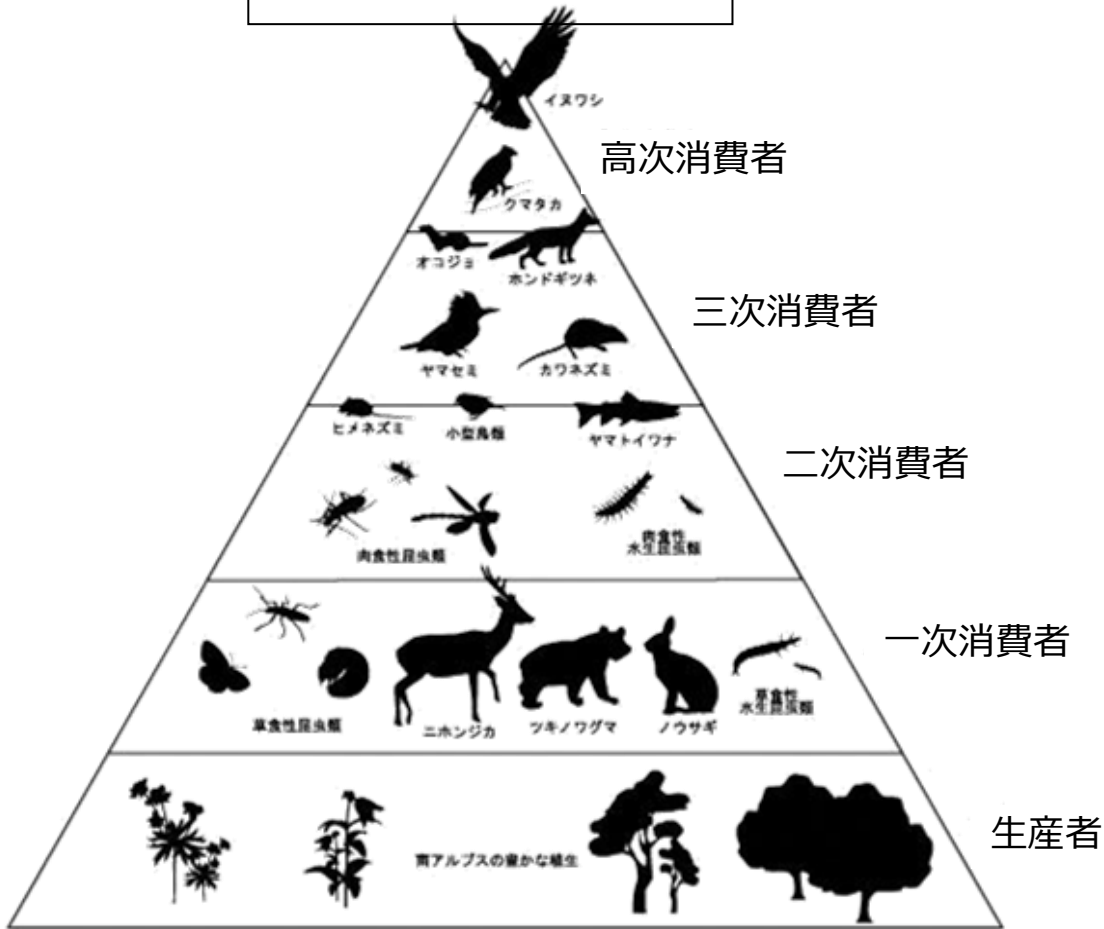
計 618種

絶滅速度の加速



生態系のバランスが崩れると・・・

生態系ピラミッド



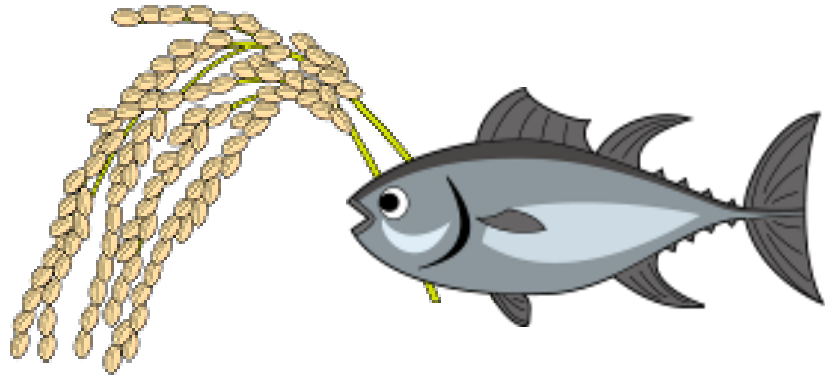
南アルプスの食物連鎖模式図

出典：南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画《静岡市域版》



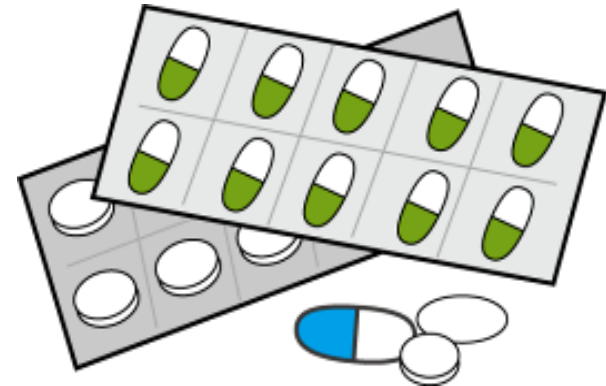
生物多様性の損失による私たちへの影響

食材の減少や偏り、価格の高騰、食料不足が生じる可能性



森林が失われると、土砂崩れの発生や水資源が枯渇する可能性

花粉を運ぶハチ等がいなくなると、受粉できず育つことができない植物が出てくる可能性



植物や菌類等の成分からつくられる医薬品の開発ができなくなる可能性

生物多様性の重要性

人類の生活のいしずえ、命のみなもと

- 酸素、水、食料、衣服、住宅などの供給の源
- 土砂流出防止の役割
- 民話、食文化、風習、お祭りなどの文化の源



(活動例①) 富士山外来種撲滅大作戦



(活動例②) 南アルプスの防鹿柵設置



ニホンジカの
増加!!



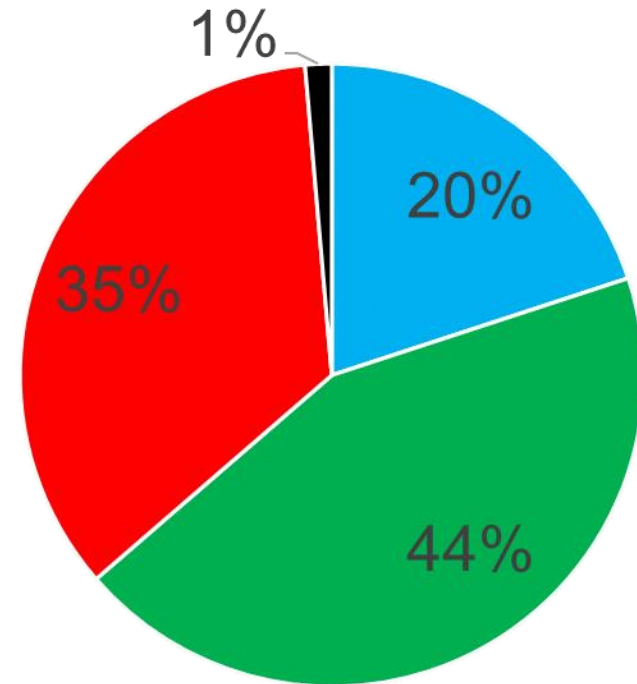
(活動例③) アカウミガメの保護活動



「生物多様性」とは何か知っていますか？

Q：「生物多様性」という言葉や意味について、
どの程度知っていますか。（R2県政世論調査）

- A： 1 知っている
2 聞いたことがある
3 聞いたことがない



■ 知っている ■ 聞いたことがある
■ 聞いたことがない ■ 無回答

地域戦略の中間見直し①

計画名：ふじのくに生物多様性地域戦略

位置づけ：生物多様性基本法第13条第1項に
基づく地域戦略

年度	地域戦略の期間
2018(H30)	計画初年度
2022(R4)	中間見直し ※概ね5年後
2027(R9)	計画期間終了 ※10年間



地域戦略の中間見直し②

ふじのくに生物多様性地域戦略の全体構成

章	項目
第1章	生物多様性地域戦略とは
第2章	生物多様性地域戦略の現状と課題
第3章	戦略の基本的な考え方
第4章	行動計画
第5章	地域別個別計画
第6章	推進体制・進行管理

⇒ 今回は、社会情勢を踏まえた計画等の更新を実施

地域戦略の中間見直し③

「浜名湖」についての記載状況(第4節抜粋:見直し前)

第4節 浜名湖



弁天島



浜名湖は淡水と海水が入り混じった汽水の環境であるほか、干潟、藻場等の多様な環境があります。また、アサリやニホンウナギ等の水産資源を活かした産業も盛んです。

- 干潟、ヨシ原、アマモ場等の環境を保全することが必要であり、その際には渡りをする鳥類の中継・生息地としての観点も必要です。
- 湖沼や湿地の保全等を図る必要があります。
- 浜名湖への理解と関心を高めるため、意識啓発や環境保全団体のネットワーク化が必要です。
- 国等と連携し、資源保護に配慮したウナギ養殖への転換を進めるほか、親ウナギの放流等地域の取組を継続する必要があります。
- ツメタガイの駆除のほか、稚貝放流を目的とした天然採苗等のアサリ保護活動を継続する必要があります。
- 近年、アカエイが湖内で増加しており、その実態調査や対策の検討を行う必要があります。
- 浜名湖への理解と関心を高めるため、意識啓発や環境保全団体のネットワーク化が必要です。

具体的な取組

関係課

【浜名湖の豊かな自然環境の保全】

- 「静岡県立自然公園条例」による浜名湖県立自然公園の巡視・指導、規制区域の指定及び開発等の行為規制を行い、浜名湖の自然環境を保全します。 [自然保護課]

【浜名湖の環境保全に関する啓発】

- 「はまなこ環境ネットワーク」の活動促進や、浜名湖クリーン作戦の実施により、浜名湖の環境を保全します。 [自然保護課]

【浜名湖に流入する河川の水質維持】

- 下水道、合併処理浄化槽、農業・漁業集落排水施設の整備や適正管理等により、生活排水による生物多様性への影響を低減します。 [生活排水課・廃棄物リサイクル課・生活環境課・漁港整備課]
- 特定事業場への立入検査や監視等により、事業活動による水質汚濁、地下水汚染、土壌汚染の発生を予防し、生物多様性への影響を低減します。 [生活環境課]

【ニホンウナギやアサリ等水産資源の管理】

- 漁獲されたウナギのうち、産卵降河が近いと思われる大型ウナギの買上放流事業を進めます。 [水産資源課]
- ウナギ養殖業の許可制に伴いシラスウナギの池入れ量を抑制します。 [水産資源課]
- 採捕されたシラスウナギの県内養殖業者のみへの供給、及び採捕許可数量の県内需要量への限定により、シラスウナギの採捕量を抑制します。 [水産資源課]

具体的な取組

関係課

【ニホンウナギやアサリ等水産資源の管理】

- 漁業者が自ら行っているアサリの天然採苗や人工増殖事業を推進し、浜名湖のアサリ資源を安定して増やします。 [水産資源課]
- アサリ資源を保全しつつ漁獲する漁業者の取組を支援します。 [水産資源課]
- 漁業者が行うアカエイの駆除方法や駆除したアカエイの活用方法の検討に参画し、アカエイの密度管理の実現を目指します。 [水産資源課]

【開発事業者に対する保全措置の要請】

- 開発事業者と自然環境保全条例に基づく自然環境保全協定を締結し、生息状況の正確な把握と、それに基づく必要な環境保全のための措置を求めていきます。 [自然保護課]

地域の取組紹介

■「はまなこ環境ネットワーク」による活動

浜名湖地域で活動している環境保全団体等の交流を促進することを目的に発足した「はまなこ環境ネットワーク」では、会員間の連携と交流促進を図るための団体交流会の開催等、住民行動による浜名湖づくりを促進し、浜名湖の環境保全を推進しています。

■アマモ場の保全

浜名湖に広く分布するアマモを保全するため、「NPO法人はまなこ里海の会」ではアマモの観察会等を実施しています。参加者は、アマモ場が魚類等の生物の繁殖場所や生息場所として重要な場所であることを理解し、この環境を守り伝えることの重要性を学んでいます。

■浜名湖クリーン作戦

浜名湖周辺の自治体や事業者等で組織する「浜名湖の水をきれいにする会」では、毎年6月に一斉清掃「浜名湖クリーン作戦」を行っています。

■ヌートリアの駆除

浜名湖沿岸では近年、特定外来生物のヌートリアが確認されています。湖西市では、湖西市野生鳥獣等管理協会へ駆除を依頼し、駆除活動を行っています。

■浜名湖体験学習施設「ウオット」での体験学習

浜名湖体験学習施設「ウオット」は、静岡県水産技術研究所浜名湖分場の展示施設です。生物に直接ふれあうことによって、浜名湖の水の生物とその生息環境について学び、浜名湖の豊富な資源に対する理解を深める場を提供しています。

■浜名川の浄化

湖西市内を流れて浜名湖に注ぐ浜名川では、下水道の普及のみならず、浜名川をきれいにする会や地域住民等によるEM(有用微生物群)菌を散布する活動等が効果を発揮し、他県では絶滅危惧種にもなっているミズオオバコが群生しているのが見られます。

■佐鳴湖の浄化

水質汚濁が課題となっている佐鳴湖では、「佐鳴湖水環境向上行動計画」に基づき、流域における水環境改善の取組を定着させるとともに、行動計画に基づく啓発活動等、流域一体となった総合的な水環境の向上に向けた取組を推進しています。

地域戦略の中間見直し④

「浜名湖」に関する計画の修正

【行動方針11】 河川・湖沼・湿地の水辺のつながりの確保

【第4節】 浜名湖

・外来植物の分布拡大により、在来植物や地域固有の生態系を破壊するおそれがあるため、外来植物の除去対策が必要。

・次世代の環境保全の担い手の育成も考え、高校生の参加を促し、継続的な活動につながるよう、民間団体等の取組を支援する。

⇒ 外来植物の除去対策などについて追記予定

地域戦略の中間見直し⑤

ホームページの掲載状況(県自然保護課)



ホーム > 組織別情報 > 暮らし・環境部 > 環境局 > 自然保護課 > 自然保護課/野生生物 > 「生物多様性」について

更新日：令和4年2月1日

「生物多様性」について

「ふじのくに生物多様性地域戦略」について

静岡県の多彩で豊かな自然環境を後世に継承していくための行動計画として、県では「ふじのくに生物多様性地域戦略」を平成30年3月に策定しました。

ふじのくに生物多様性地域戦略の目標

生物多様性の大切さを理解し、力を合わせて、
生物多様性にめくまれた理想郷“ふじのくに”に生きる

(県内の特徴的な地域について)

静岡県における特徴的な地域として、国内外でも注目が高まっており、今後ますます生物多様性の保全と持続可能な利用の視点が重要となる「伊豆半島」「富士山」「南アルプス」「浜名湖」の4つの地域を取り上げています。

- ・伊豆半島
- ・富士山
- ・南アルプス
- ・浜名湖



ふじのくに生物多様性地域戦略(電子データ版)

〇ふじのくに生物多様性地域戦略【全体版】

PDF 全体版 (PDF: 6,929KB)

〇ふじのくに生物多様性地域戦略【分冊版】

PDF 01表紙、構成、目次 (PDF: 663KB)

PDF 02はじめに (PDF: 1,574KB)

PDF 03第1章：生物多様性地域戦略とは (PDF: 2,327KB)

PDF 04第2章第1節：生物多様性を育む根土 (PDF: 1,939KB)

PDF 05第2章第2節：多様な生物 (PDF: 2,316KB)

PDF 06第2章第3節：生物多様性と人とのつながり (PDF: 1,285KB)

PDF 07第2章第4節：本県を構成する生態系 (PDF: 2,434KB)

PDF 08第2章第5節：県内の特徴的な地域 (PDF: 1,537KB)

PDF 09第3章：戦略の基本的な考え方 (PDF: 1,475KB)

PDF 10第4章：行動計画 (PDF: 2,888KB)

PDF 11第5章：地域別個別計画 (PDF: 1,889KB)

PDF 12第6章：推進体制・進捗管理 (PDF: 1,842KB)

PDF 13資料編 (PDF: 887KB)

〇ふじのくに生物多様性地域戦略【概要版】

PDF 01概要版(その1) (PDF: 3,793KB)

PDF 02概要版(その2) (PDF: 2,727KB)

〇ふじのくに生物多様性地域戦略【チラシ】

PDF 普及啓発用チラシ (PDF: 653KB)

「ふじのくに生物多様性地域戦略」の取組状況

PDF 令和2年度実績報告書 (PDF: 9,945KB)

▶この報告書は、令和2年度事業終了後、令和3年度に取りまとめた報告書です。

PDF 令和元年度実績報告書 (PDF: 5,378KB)

▶この報告書は、令和元年度事業終了後、令和2年度に取りまとめた報告書です。

PDF 平成30年度実績報告書 (PDF: 3,251KB)

▶この報告書は、平成30年度事業終了後、令和元年度に取りまとめた報告書です。

「ふじのくに生物多様性地域戦略」シンポジウムの開催について

PDF (参考)令和2年度シンポジウム発言内容 (PDF: 432KB)

PDF (参考)令和元年度シンポジウム発言内容 (PDF: 379KB)

戦略の本編等
については、

静岡県 生物多様性

で

検索

100 年後、1000 年後にも



自然と人が共生できる静岡県に